

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2006-122818(P2006-122818A)

【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-314679(P2004-314679)

【国際特許分類】

B 0 2 C 18/00 (2006.01)

B 0 2 C 18/08 (2006.01)

B 0 2 C 18/16 (2006.01)

B 0 2 C 18/18 (2006.01)

B 0 2 C 18/24 (2006.01)

【F I】

B 0 2 C 18/40 1 0 2 A

B 0 2 C 18/08 Z

B 0 2 C 18/16 Z

B 0 2 C 18/18 Z

B 0 2 C 18/24

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月3日(2007.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記導出口は、前記筒状体の一端に形成され、

前記筒状体の一端には、前記導出口に対応する開口が形成された天板と、前記天板に対向する底板と、一端が前記天板に覆われ且つ他端が前記底板に覆われ、前記筒状体よりも内径の大きな円筒からなる胴部とを有するケーシングが接続され、

前記第2粉碎刃は、前記天板に固定され、

前記対向板及び前記第1粉碎刃は、前記ケーシング内に収容され、

前記回転機構は、前記対向板を回転させる、請求項1～4のいずれか一つに記載の粉碎機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

前記ケーシング内において、前記対向板の回転に従って周回する前記第1粉碎刃の外側に配置され、前記第1粉碎刃の周回移動に際して前記第1粉碎刃の外側端とすれちがう内側端を有する補助刃を備えた、請求項5に記載の粉碎機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

前記導出口は、前記筒状体の一端に形成され、前記筒状体の一端には、前記導出口に対応する開口が形成された天板と、前記天板に対向する底板と、一端が前記天板に覆われ且つ他端が前記底板に覆われ、前記筒状体よりも内径の大きな円筒からなる胴部とを有するケーシングが接続され、前記第2粉碎刃は、前記天板に固定され、前記対向板及び前記第1粉碎刃は、前記ケーシング内に収容され、前記回転機構は、前記対向板を回転させるものであってもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

このことにより、第2粉碎刃は固定刃となり、第1粉碎刃は対向板と共に回転する回転刃となり、粉碎困難物のかみ込みが防止されると共に、生ごみが効果的に粉碎される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

前記ケーシング内において、前記対向板の回転に従って周回する前記第1粉碎刃の外側に配置され、前記第1粉碎刃の周回移動に際して前記第1粉碎刃の外側端とすれちがう内側端を有する補助刃を備えていることが好ましい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

このことにより、第1粉碎刃と第2粉碎刃とによって粉碎された生ごみは、更に第1粉碎刃と補助刃とによって剪断され、微細化される。